## 第53回BPAJ全国ボウリング競技大会

**BOWLEX JAPAN 2019 in TOKAI** 

5月31日~6月2日/名古屋グランドボウル



▲国体に向けても弾みになりそうな4人チーム戦優勝 の和歌山県チーム



▲3フロア計156レーンの世界最大級の名古屋グランドボウルが熱 戦の舞台となった

JAPAN 2019 in TOKAI』(日本商工会議所会頭杯争奪第 53回BPAJ全国ボウリング競技大会/第8回定時総会 及び関連行事)が、東海ボウリング場協会の主管で5月31 日から6月2日まで行われ、大会参加選手のほか、協会役 員・会員代表者、各センター及び都道府県場協会関係者、 競技者団体、ボウリング商工会はじめ業界関係者、マスコ ミ関係者ら約600名が参加して盛大に開催された。

全国ボウリング競技大会は、 3フロア156レーンを擁する名 古屋グランドボウルが会場と あって、メインの4人チーム戦 はもちろん、ダブルス戦、スペ シャルオリンピックスの部ま で、すべて一会場で行われた。

日本商工会議所会頭杯を争 うメイン種目の4人チーム戦に は83チームが参加、予選8G、 決勝3Gの11G(チーム44G) トータルで争われた。なお女子 には、1G10ピンのハンデが 与えられた。

今年のいばらぎ国体への地 区予選会を突破して出場を決め た和歌山県の成年女子は、伊勢 川華愛、山本菜由、安里紗希、 川口茉紀の4選手だが、そのま まのメンバーでこの大会にも臨 んだ。「チーム戦の練習を試合 形式でできるいい機会だから、 と話をして出場を決めた」と、 まとめ役の川口選手。予選を女 子ハンデがあるとはいうもの の、アベ230超えのハイペー



▲「優勝はチームのみんなが頑張っ てくれたおかげ」と山本選手



過。2位には36ピン差で三重・ アソビックスあさひ(伊藤・加 藤・高木・梅田)がつけた。こ ちらは全員男子の編成。なかで も3月のJBC全日本選手権マ スターズ覇者の高木裕太選手 が、2発のパーフェクトをマー クする活躍を見せた。

決勝も両チームのマッチレー スとなったが、最終Gを817と 打った幸木百合菜選手(福岡 スで飛ばし、7423の1位通 伸ばせなかったアソビックスあ



▲5歩から4歩助走に変えてよくなっ た。でも昨日は一生分のストライク が出た感じ」と安里選手



▲「いいチーム戦ができた。とくに昨日 のスタートは上出来すぎたくらい」

さひを、967と会心のゲーム の和歌山県が一気に突き放し、 トータル10,131で優勝、日本 商工会議所会頭杯を獲得した。 アソビックスあさひは175ピ ン及ばず2位だった。

個人部門は、男子はベテラ ン・高橋浩一選手(北海道・総 合レジャーサンコーボウル)が 2678で、アソビックスあさひ の高木選手を33ピン差退けた。 また女子は、最終Gに288を フラワーボウル)が、和歌山県 の安里選手を8ピン逆転する 2691で優勝した。

ダブルス戦は、予選を3749 で1位の水谷亮太・岩元美咲希 選手組と3681で2位の谷原美 来・入江菜々美選手組の、会場 の名古屋グランドボウルから出

場の2チームの優勝争いとなっ た。決勝では谷原・入江選手組 が懸命に追い上げたが、水谷・ 岩元選手組が22ピン差振り切 る5074で優勝を決めた。

個人部門、男子は沖縄・ドラ ゴンボウルの大城安広選手が 2609で、チーム戦優勝の水谷 選手を22ピン抑えた。女子は、 埼玉・ニューパールレーン武里 の野上美幸選手がチーム戦準 優勝の入江選手に33ピン差を つける2678で優勝した。

大会と並行して、名古屋東急 ホテルで日場協の『第8回定時 総会』、事業協同組合の『第13 回通常総代会』が行われた。冒 頭のあいさつで、中里則彦会長 は厳しい現状認識を示しつつも 「昨年から今年にかけてうれし いニュースがふたつありまし た。ひとつは日本のボウリング 史で初めて主たる8団体がひと つにまとまって日本ボウリング 機構(JBO)が設立されまし た。みんなが集まることで、に感謝状が贈られた。



選手チーム

きっと大きな力になります。も うひとつは桑田佳祐さんが、私 たちの10年分以上のメディア への露出をここ数カ月で行い、 ボウリング愛を発信してくださ いました」と、ポジティブな材 料を挙げつつ、ボウラー人口の 底辺の拡大を呼びかけていた。

またその夜には、同ホテルで 懇親会が開かれたが、席上"8 カ月で全センター完全制覇"と 本紙でも紹介した備藤達也さん



▲名古屋東急ホテルで定時総会が行 われた



▲4人チーム戦入賞チーム



▲日本1周ボウリングの旅がメディアに も取り上げられた備藤さん(右)に、 中里会長から感謝状が贈られた